

統合レポート 2025

Integrated Report



つなぐ安心、つなげる力



当社は1901年(明治34年)に創業し、以降、洋釘製造のリーディングカンパニーとして業界を牽引して参りました。

その後の世界情勢や日本経済の変化の中においても、一貫して兵庫県尼崎市での高品質洋釘の技術革新を行いつつ、お客様のご要望にお応えして参りました。

丸釘から特殊釘、そして大変ご好評を頂いております木割れ最強釘など、幅広い製品を取り揃えております。また関係会社のナテックでは、OA機器や自動車業界向けに革新的なファスナー製品を供給しお客様から高い評価を頂いております。

今後も引き続き世の中の変化に柔軟に対応しながらマーケットのニーズに全社をあげてお応えしていく所存です。また、サステナブルな社会の実現、カーボンニュートラルへの対応にも積極的にチャレンジして参ります。

代表取締役社長

佐藤 亮

目次

P.1 トップメッセージ

P.2 目次

P.3 経営理念・企業行動基準

P.4 沿革

第1章 価値創造

P.5 事業概要(建設・梶包向)

P.8 事業概要(電気・輸送機器向)

第2章 成長戦略

P.11 前中期経営計画(2022～2024年度)総括

P.12 新中期経営計画(2025～2027年度)

第3章 価値創造を生み出す基盤

P.18 SDGs

P.19 環境社会への貢献

P.20 安全衛生・BCP

P.21 投資家との関わり

P.22 地域社会との共生

P.23 コーポレート・ガバナンス

P.24 キャラクター

P.25 メディア掲載

第4章 コーポレートデータ

P.26 財務情報(グラフ)

P.27 財務情報(表形式)

P.28 非財務情報

P.29 会社情報・株主情報

編集方針

この統合レポートは、株主・投資家のみなさまに当社の事業内容と新しい取組みを共有し、より良い対話を通じて中長期的な企業価値の向上を実現していくことを目指すものです。

報告対象範囲

アマテイ株式会社
株式会社ナテック

発行時期

2025年12月

本レポートに関する問合せ先

アマテイ株式会社 経営管理本部
人事総務部 IR広報課(06-6411-7084)
〒660-0845
兵庫県尼崎市西高洲町9番地

～経営理念～

1本の釘・ねじで、ものともの、人と人とを繋ぎ、
豊かな社会づくりに貢献します。

～企業行動基準～

当社は、利潤を追求すると同時に、社会にとって有用な存在でなければならない。

そのために、以下8つの企業行動基準を設定し、これに則り企業の発展を通じ社会に貢献するものとする。

01. 法令・定款・および社内規程を遵守する。
02. 安全と防災をすべてに優先させる。
03. 環境の保全と調和を図る。
04. 働きやすい職場環境を実現する。
05. 優れて安定した製品を顧客に提供し、顧客の満足と信頼を獲得する。
06. 「良き企業市民」として、地域社会発展への寄与と社会貢献活動を行う。
07. 社会が必要とする存在であるよう、常に創意工夫を行う。
08. 反社会的勢力を排除する。

アマテイの歩み

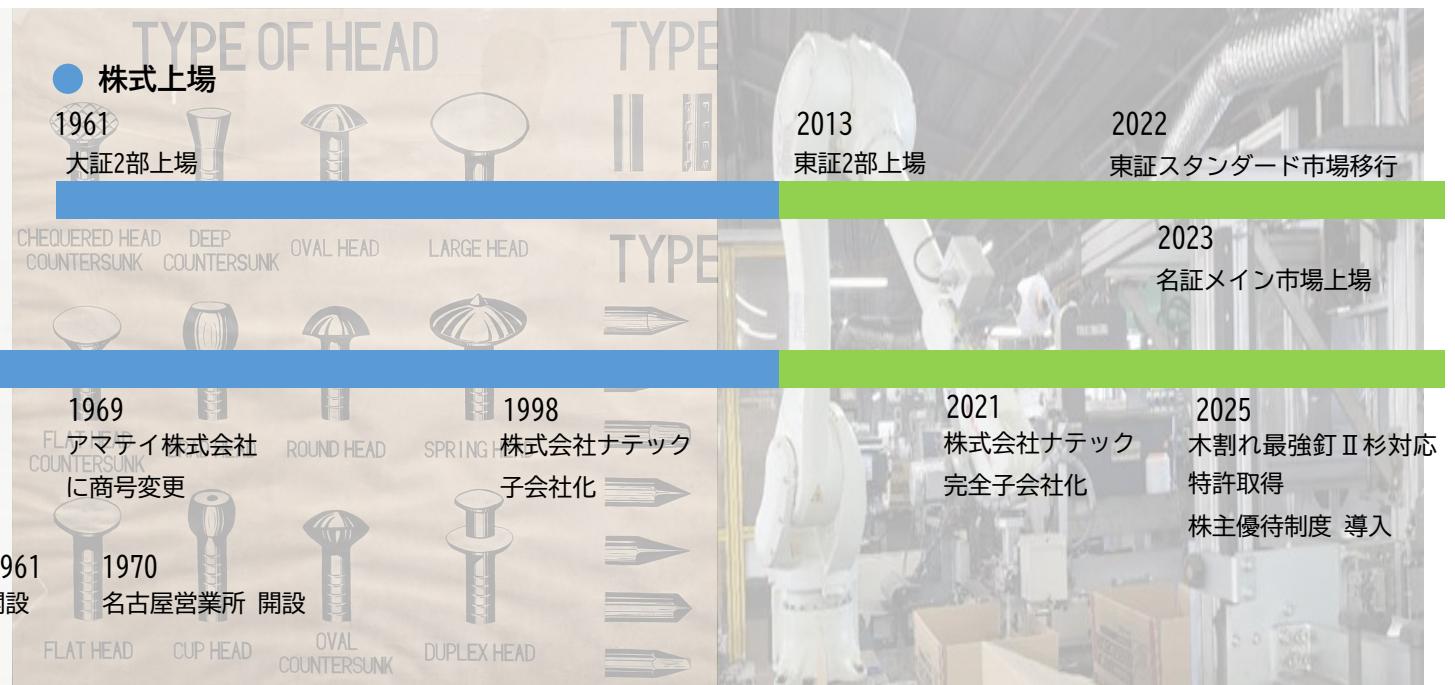
会社の歩み

1901
岸本製鉄所 開設
(当社の最前身)

1944
大建産業株式会社
設立

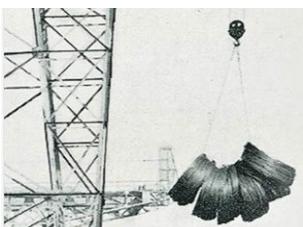
1949
当社 発足
((株)尼崎製釘所)

1961
東京営業所 開設



創業～戦時中のストーリー

当社の最前身は、1901年に開設された岸本製鉄所です。第一次世界大戦や日中戦争など、戦時中混乱期の中で合併や分割を繰り返し、時代ごとの日本で求められるニーズに柔軟に対応して参りました。



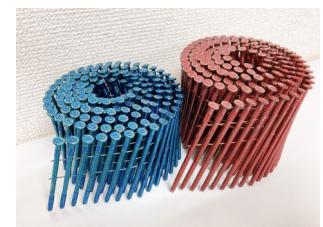
戦後～株式上場のストーリー

1949年に大建産業が分割される形で(株)尼崎製釘所として発足しました。1961年に大阪証券取引所に上場し、1969年、アマテイ株式会社に商号を変更しました。その後、日本はオイルショックやバブル崩壊などに見舞われましたが、その都度状況に応じた対策を講じ、第一線を歩み続けることができました。



環境への取組みを意識したストーリー

地球環境への配慮が強く求められるようになってきた現代においても、アマテイグループでは、環境に配慮した製品の開発や梱包資材の削減など柔軟に対応しております。今後も「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」「セルフタッピングスクリュー」などの製品供給を通じてカーボンニュートラル社会の実現に貢献して参ります。



事業概要



主に住宅建設・梱包業界向けに販売
高機能・高品質な製品の提案、開発

事業内容

当社は洋釘のトップメーカーとして、主に建設・梱包業界向けに約800種類の釘の製造・販売を行っております。

建設向の釘は主に2X4(ツーバイフォー)住宅などに使われ、梱包向の釘は木製パレットや木枠梱包などに使われております。

当社は大手住宅メーカーを中心に全国に700社以上のお客様とお取引させて頂いており、お客様のご要望に沿った製品の提案や開発を多数行っております。

製品例



スクリュー釘



スーパー・コンクリート釘



木割れ最強釘



CNZ釘

製品使用例



住宅



非住宅木造建築物

(出典)公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

製造工程

1. 伸線



2. 製釘



3. 磨釘



4. 転造



5. 連結



6. 梱包



釘の保持力を上げるために、胴部表面に、螺旋状やリング状の模様をつきます。

釘を100～1,000本に連結する工程で、針金連結・シート連結・樹脂連結があります。

連結された釘のコイルやバラ釘等を段ボール箱等へ箱詰めする工程で、近年では、ロボット導入により、自動化・省人化に積極的に取組んでおります。

強み

① 独自の技術力・開発力で高付加価値を提供

当社には、特許製品を含む豊富な高付加価値製品の開発実績があります。

2025年1月に「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」の特許を取得いたしました。

他にも、オリジナルの木割れ最強釘・瓦用ステンレスねじリング釘・リングアンカー
(※)などの特許品がございます。



木割れ最強釘Ⅱ杉対応



木割れ最強釘



瓦用ステンレスねじリング釘



リングアンカー

※リングアンカーは、日本植生株式会社との共同特許です。

② 大手住宅メーカーを含む優良取引先との強固な信頼関係

当社は全国各地に大手住宅メーカーや2X4パネルメーカーを中心に幅広い業界に販路と優良取引先を持っており、700社以上のお客様と取引をしております。



など



主に自動車用・電気機器用ねじ・ボルトを製造
多種多様なニーズに応え、安全・高機能・高品質な締結を実現

事業内容

電気・輸送機器向として、ねじ・ボルト・冷間圧造部品の製造・販売を関係会社の  **株式会社ナテック** が行っています。

近年、自動車部品用途向け販売が増えており、中でも電動自動車EV・HEV等の主要部品締結用ねじ・ボルト・パーツフォーマー品は、世界的な環境規制強化により、電動自動車の普及率が2030年代に向かって加速する見込みとなっている中、今後の事業成長が見込まれる分野です。

製品例



ALtracs® Plus



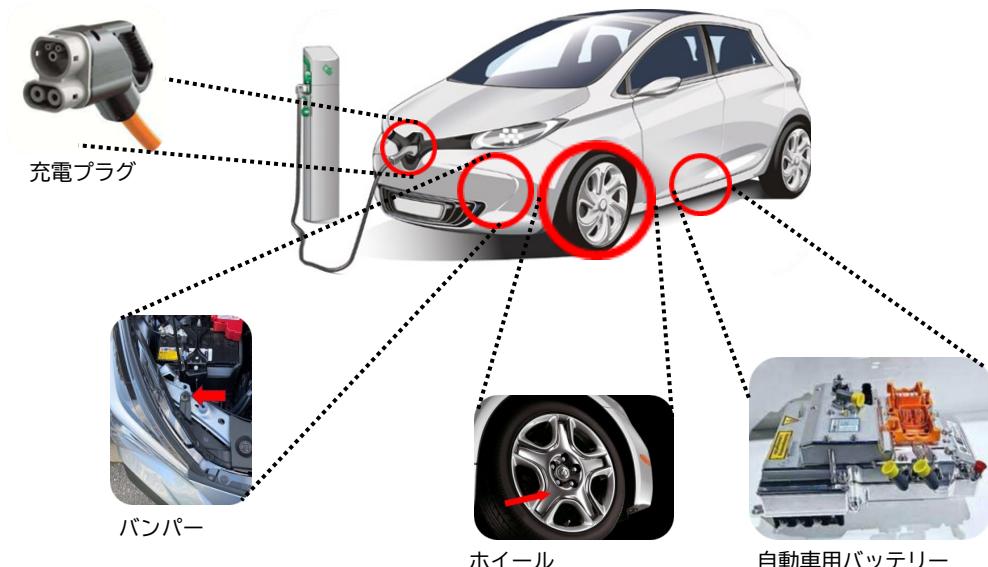
DELTA PT®



パーツフォーマー製品



製品使用例



製造工程

① 圧造



生産能力 $\phi 1.2\text{mm} \sim \phi 15\text{mm}$ 幅広いサイズに対応いたします。マイクロヘッダーから7段パーツフォーマーで複雑な形状も製造可能です。圧造工程では、始業・午前・午後・終業時の毎日4回、工程内検査を実施しております。

② 転造



生産能力M1.2mm～M12mmまで幅広いサイズに対応いたします。ねじ加工の他にも、ローレット加工・ミゾ加工（フォームローリング）・転造タップ加工も行っております。転造工程では、始業・午前・午後・終業時の毎日4回、工程内検査を実施しております。

③ 二次加工



自社で圧造加工や転造加工を行った後、協力工場様で切削・研磨・プレスといった二次加工を行なっております。

④ 熱処理



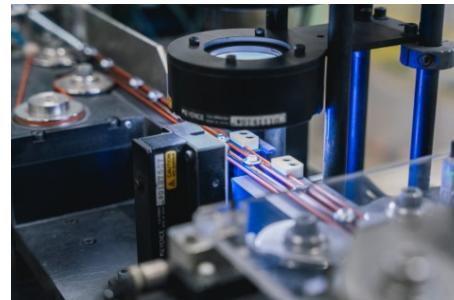
連続浸炭熱処理炉を自社で完備、安定した品質管理と短納期に対応いたします。調質熱処理については協力工場様4社で対応しております。

⑤ 表面処理



20社以上の協力工場と連携し、表面処理を行っています。50種類以上の処理に対応しており、製品仕様に合わせた加工が可能です。

⑥ 選別



カメラ式画像選別機で、形状不良・寸法不良・外観不良などを排除し不良品の流出を事前に防ぎます。24時間稼働で対応しております。

⑦ 検査



出荷前に検査課にて、寸法・外観・精度・強度などの最終検査を行います。検査課も製造部門と連携して工程内検査を定期的に行っております。

⑧ 締結評価試験



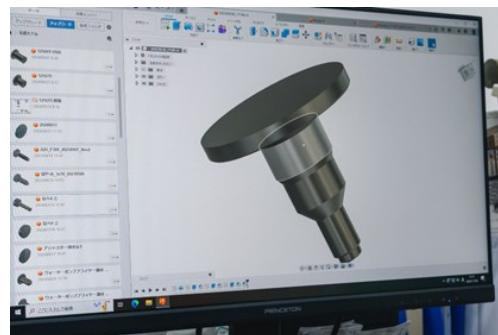
高性能なトルク試験機（ドイツ製）で締め付け試験を行い、最適な締結条件をご提案いたします。更に環境試験機と連絡させて-50°C～+150°Cでの温度変化による軸力の変化なども測定可能です。

強み

① 設計開発力、技術提案力、多様な設備

ナテックでは、常にお客様の多種多様なニーズに応え、安全・高機能・高品質で最適な締結を実現します。また、微細な部品から大きな部品まで精密に仕上げることができます。そして、多段パーツフォーマーにより複雑な形状要求にも対応することができます。

ねじの評価試験でも、「トルク試験機」や「小型環境試験機」などを使用し、ものづくりの工程内で設計段階の品質を確保しています。



② 豊富なライセンス品ラインアップ

国内・海外を含め多数のライセンスを取得しております。

EJOT®

CONTI REMINC

**CAMCAR®
INNOVATIONS**



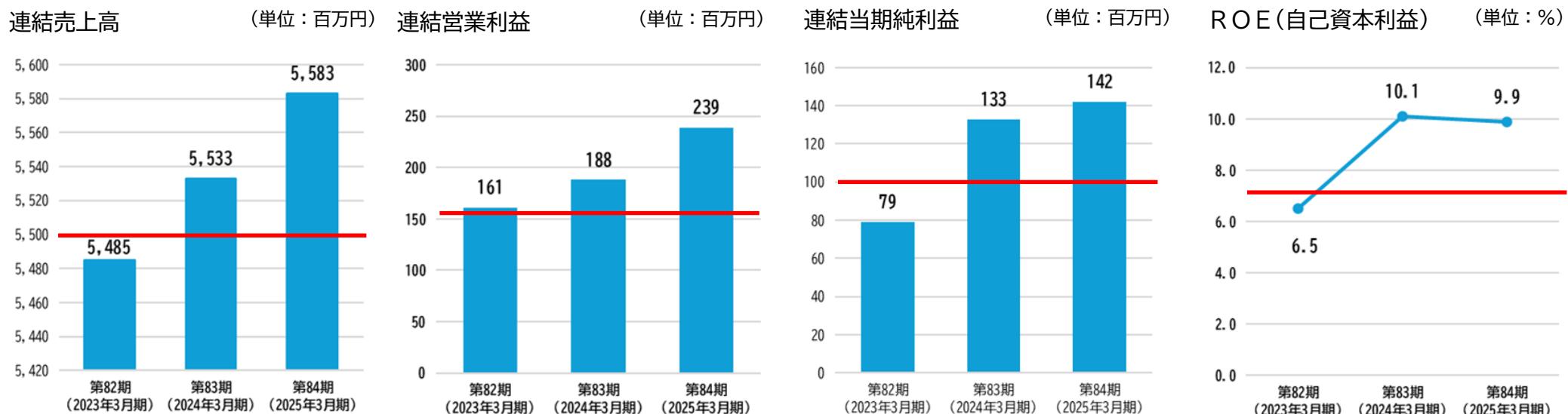
H10S®

前中期経営計画(2022～2024年度)総括

«数値目標及び実績»

(単位：百万円)

	計画目標値	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	判定
連結売上高	5,500	5,485	5,533	5,583	○
連結営業利益	160	161	188	239	○
連結当期純利益	100	79	133	142	○
ROE(自己資本利益)	7.0%	6.5%	10.1%	9.9%	○



※グラフ上の赤線は、いずれも計画目標値

上記の通り、2023・2024年度において全項目で目標を達成しました。

中期VISION

新しい時代に向けたつなぐ技術で環境問題へのソリューションを提供し、サステナブル社会の実現に貢献することにより、全てのステークホルダーからの評価を高め持続的な企業価値向上を目指す。

基本方針

～さらなる成長へ～

成長分野への経営資源重点配分、強靭な企業体质の完成



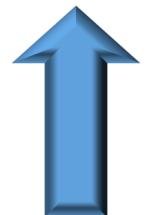
収益性向上



生産性向上



成長投資



財務強化

«重点施策(建設・梶包向)»

(1) 事業環境

① 耐震ニーズの高まり

気候変動に伴い頻発化している気象災害や、大規模地震への対応として防災・減災・国土強靭化の政府方針のもと、住宅・建築物の耐震構法ニーズが高まっています。

② 非住宅木造建築物が増加中

環境問題を背景に、非住宅木造建築物が増加しています。2030年度の非住宅木造市場は、2024年度と比べて約60%拡大し、1兆1,400億円規模^(※)になることが予測されています。JISの改定により、中高層木造建築物への釘の活用機会が広がろうとしています。

(※)国土交通省発表の実績・矢野経済研究所の予測を元に当社で算出

「非住宅木造建築物」の一例

高齢者施設



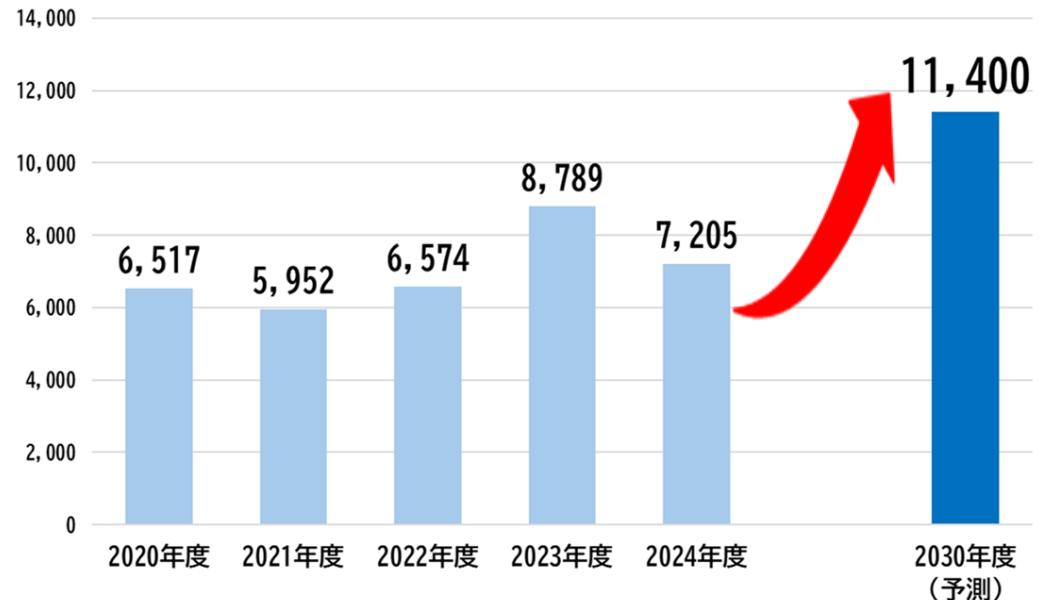
医療施設



(出典) 公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

非住宅木造市場の実績と予測

(単位: 億円)



『国土交通省「建築着工統計」工事費予定額』・『矢野経済研究所の予測』を元に当社作成

幼稚園



倉庫



«重点施策(建設・梱包向)»

(2) 現状認識と課題

現状認識

- 高い技術開発力
- 高機能・高品質製品
- 大手ハウスメーカーとの強固な関係

課題

- 収益基盤の強化
- 新規ビジネスの創出
- 廉価輸入品との差別化

(3) 重点施策

生産施策

- 無人稼働と多能工化の強化
- 歩留口ス（検査・調整・不良くず）改善
- 非住宅、中大規模木造建築のニーズに合わせた新製品・新技術の開発

営業施策

- **高機能製品の拡販**
(木割れ最強釘Ⅱ杉対応、コンクリート釘、高耐力壁用釘など)
- **急増する木造非住宅分野**(公共施設・商業施設など)の需要取込み
- 競争力あるOEM先の開拓

«重点施策(電気・輸送機器向)»

(1) 事業環境

① EV・HEVなど電動自動車の需要は益々増加傾向

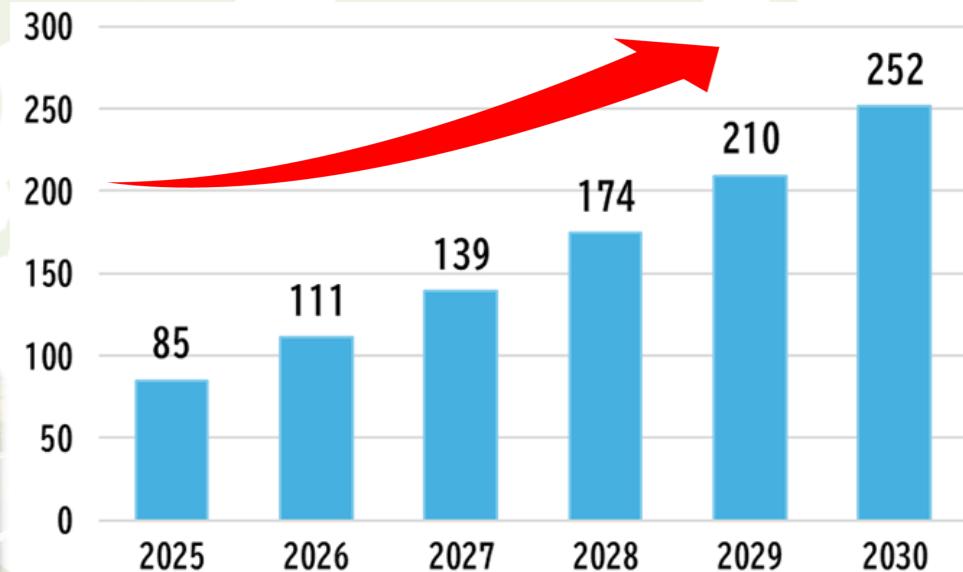
環境問題を背景にガソリン車からEV・HEVなどの電動自動車への置換わりが進むことが見込まれています。世界の電動自動車の普及予測は、2025年時点では8,500万台程度に留まるものの、5年後(2030年)には、約3倍の2億5,200万台程度にまで拡大することが予測されています。

(出典：IEA)



«世界の電動自動車 普及予測»

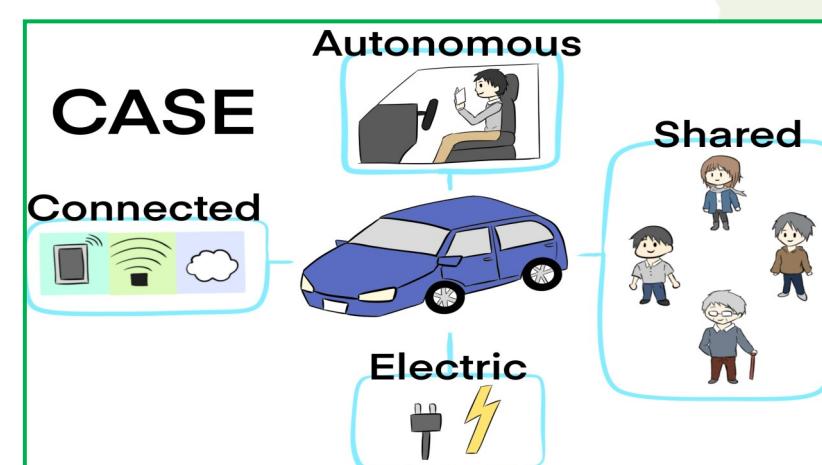
(単位:百万台)



(IEAのデータを元に当社作成)

② 自動運転をはじめとするCASE関連技術の進歩は著しく、センサーなどの需要は増加傾向

近年、世界各国で自動運転の実用化が進んでおり、今後もさらなる発展が見込まれています。自動運転技術には、ミリ波レーダー・LiDAR・超音波センサーなどが使用されます。今後、これらセンサーの需要は増加傾向にあります。



«重点施策(電気・輸送機器向)»

(2) 現状認識と課題

現状認識

- 部品軽量化のソリューションとしてフォーミングスクリューの販売好調
- 複雑形状の加工が可能な4段/7段パーツフォーマーの稼働率上昇

課題

- 生産性向上
- 生産能力増強
- 新分野へのビジネス拡大

(3) 重点施策

生産施策

- 生産能力向上のため無人稼働時間延長
- 自動計量・半自動梱包機を導入し、省人化および迅速な出荷体制を確立
- パーツフォーマー等技能者の育成、人材の多能工化推進

営業施策

- EV・HEV車向け電池関連やCASE関連の部品メーカーへの積極的提案活動を強化
- 産業機器・医療機器・農機具・アミューズメント関連への拡販
- ユーザーへの締結コスト改善提案として、海外ライセンス製品・パーツフォーマー製品を中心に拡販強化

«資本・財務方針»

方針

株主還元を重要責務として認識し、業績に応じた配当を継続的・安定的に行うことを基本方針とする。一方、株主の中長期的な利益確保を図るため財務体質の更なる改善や成長投資に備えた自己資本の充実も重要と位置付ける。

株主還元

本中期経営計画期間中(2025～2027年度)において、配当性向40%以上を維持する。



成長投資

【建設・梱包向】

新規優良顧客獲得のための設備投資

【電気・輸送機器向】

CASE関連需要増加に対応するための生産能力拡大投資

SDGs

当社は、SDGsを重点的に取組み、以下の活動に注力しています。



«生産活動»

(1)包装資材の軽量化

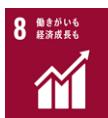
製品の梱包方法を随時改良し、包装資材(ダンボール・プラスチックトレー等)の使用量削減・軽量化を行っております。

(2)パレットのリユース

製品販売で使われるパレットは、お客様に返却していただきリユースすることで、木材資源の有効活用に取組んでおります。また、他社で使われなくなったパレットを当社内で再使用しております。



«働きがい»

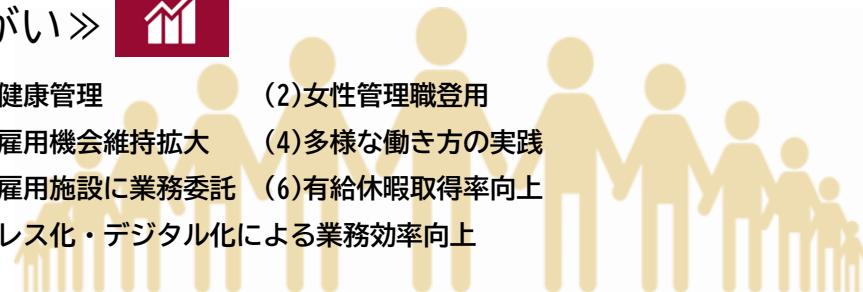


(1)従業員の健康管理

- (3)外国人の雇用機会維持拡大
- (5)障がい者雇用施設に業務委託
- (7)ペーパーレス化・デジタル化による業務効率向上

(2)女性管理職登用

- (4)多様な働き方の実践
- (6)有給休暇取得率向上



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



«社会貢献»

(1)兵庫県立尼崎の森中央緑地での森づくり活動に参加

尼崎市には「兵庫県立尼崎の森中央緑地」という100年かけて森をつくるプロジェクトを行っている公園があります。

当社では、2022年より年に2回、森づくり活動に参加し、植樹や間伐等を行うことで自然環境を守る活動に貢献しています。



活動の様子



兵庫県立尼崎の森中央緑地

«脱炭素トータルソリューション MIeCO2»



伊藤忠丸紅鉄鋼提供
脱炭素トータルソリューション
「MIeCO2」

MIeCO₂



国産杉の活用活性化に寄与

当社は、国産森林資源活用活性化のため、杉に打ち込んでも抜けにくい形状の釘の開発を行い、2021年11月に「木割れ最強釘Ⅱ杉対応」を発売開始しました。（特許取得済み）

これにより、杉の活用が活性化され、「木を切って活用し植えて育てる」循環サイクルが効果的に回りだすことにより「木の成長過程でCO₂を吸収する」というカーボンニュートラル実現に貢献して参ります。



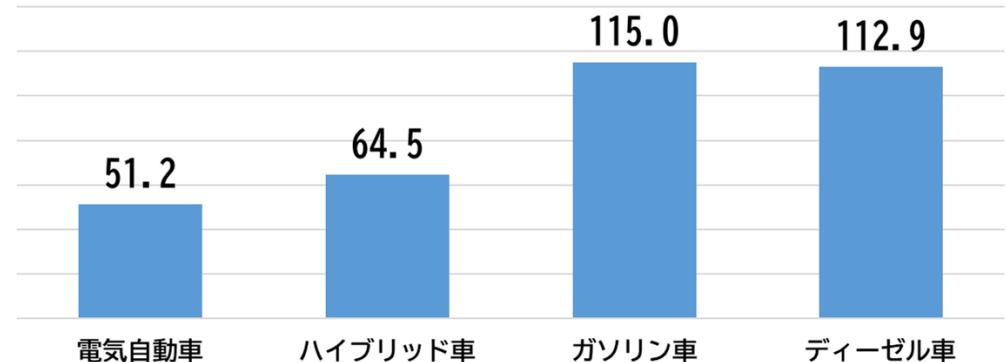
木割れ最強釘Ⅱ杉対応

電動自動車の普及に寄与

電動自動車の普及には、航続距離の長距離化が一つの課題となっており、その実現のために各メーカーは電動自動車の軽量化に取組んでいます。ナテックでは、樹脂製やアルミ製部品の締結に最適なねじを生産・販売し、電動自動車の軽量化と世界における電動自動車の普及に貢献して参ります。

1kmあたりCO₂排出量

(単位:g(グラム))



安全・防災対策

アマテイでは、企業行動基準として「安全と防災をすべてに優先させる」という方針を掲げ、日々の業務においてその徹底を図っています。定期的なパトロールやKYT（危険予知訓練）の実施、ヒヤリハットの抽出などを通じて危険の芽を摘取り、安全で安心して働く職場を目指しています。

また、過去の労働災害対策を定期的に点検し、類似災害が再発しないよう対策の見直しと改善を行っています。各部署では、自部門での発生リスクを検討し、効果的な予防策が継続して実施されているか確認しています。

さらに、火災や自然災害に備え、社員および協力会社が参加する自衛消防総合訓練の年1回の実施や安否確認訓練を強化し、全員の危機管理能力の向上に努めています。これにより、万が一の際にも迅速かつ的確な対応ができる体制の構築を進めています。

（自衛消防総合訓練の様子）



BCP対策

◆BCM (Business Continuity Management) 事業継続管理

当社は大規模地震、台風などの自然災害、パンデミックに備えて、IMP、PMP、BCPを策定し、周知徹底を図るとともに、継続的に内容の見直しを行っています。

◆基本方針

- 役員、従業員一人ひとりが危機管理意識を持ち、平時における事前対策を徹底する。
- 有事においては人命・安全を最優先に行動する。
- 個々人が秩序ある行動をとり、主体的に連携しあい、相互に補完する。



災害用備蓄品



安否確認

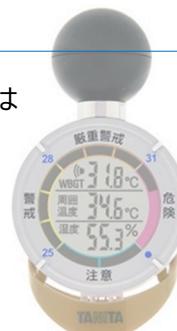


健康保持と増進

定期健康診断や特殊健康診断、人間ドック、ストレスチェックを実施し、従業員一人ひとりの心身の状態を確認しています。診断結果は産業医と詳細に確認し、必要に応じて面談を実施して適切な受診を勧めています。さらに、健康に関する小さな不安や職場に関する悩みの相談など、幅広くサポートしており、従業員が安心して働き続けることができる環境を整えています。

暑熱対策

近年、地球温暖化の影響により、異常な暑さが続いている。当社は従業員の安全と作業環境を第一に考え、熱中症対策に一層の力を入れています。具体策として、WBGTの計測、ウォーターサーバーの増設、定期的な水分補給とこまめな休憩時間の確保、空調服やスポットクーラーの設置、クールダウン、氷菓子の支給など、より安全で快適な作業環境を提供できるよう努めています。



「名証IRエキスポ」出展

当社は、2024年から名古屋証券取引所主催：「名証IRエキスポ」に出展しています。「名証IRエキスポ」では、ミニ説明会を開催し、当社の事業内容や成長戦略などを直接投資家の皆さんに説明し、対話のできる良い機会となっています。

(会場の様子)



(参考)名証IRエキspo2025 開催日時：9月5日(金)・6日(土) 来場者数：10,000名

株主通信発行

株主の皆さんに当社の業績やトピックスなどをわかりやすく報告するための一環として、2024年より「株主通信」を発行しています。



2025年6月発行の「株主通信」

※ 環境への配慮等の観点から、2026年6月開催予定の第85回定時株主総会より「株主通信」の郵送を廃止し、当社ウェブサイトにて開示させていただきます。

株主優待制度新設

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆さんに中長期的に保有していただき、当社グループの事業をさらにご理解いただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。

【対象となる株主様】

毎年3月末日(基準日)時点の株主名簿に記載または記録された1,000株(10単元)以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様

【優待内容】

QUOカード3,000円分



「1,000株以上の当社株式を1年以上継続保有」とは、3月末日、9月末日時点の当社株主名簿に、同一株主番号で1,000株以上の保有記録が継続して3回以上記載または記録されていることが条件となります。

コベルコ神戸スティーラーズ オフィシャルパートナー

当社は「ジャパンラグビー リーグワン」に所属するラグビーチーム「コベルコ神戸スティーラーズ」のオフィシャルパートナーです。2024年12月、当社が製造する釘でチームロゴをあしらったオブジェをコベルコ神戸スティーラーズに寄贈しました。また、使用した釘は、神戸製鋼所加古川製鉄所第8線材工場で圧延された硬鋼線材が使用されています。



当社寄贈オブジェ

REC KOBE 1995協賛



あの日の出来事を、
今までの頑張りを、
100年先も忘れないために。

阪神・淡路大震災から30年
震災30年という節目にしかできないことを。

アマテイは、震災30年プロジェクト
「REC KOBE 1995」をサポートしています。

「REC KOBE 1995」公式ページ
<https://reckobe1995.jp/>

【社会貢献】尼崎南警察署と協力開催

尼崎南警察署と協力して、阪神尼崎駅前の中央公園で「秋の全国交通安全運動キャンペーン」を行いました。当日は阪神タイガースのマスコット「コラッキー」が応援に駆けつけてくれました。



「MASHUP FESTIVAL」協賛



今年初開催の兵庫県最大の野外フェス
「MASHUP FESTIVAL」に協賛しました。



当社のコーポレート・ガバナンスについて

コーポレート・ガバナンスの概要

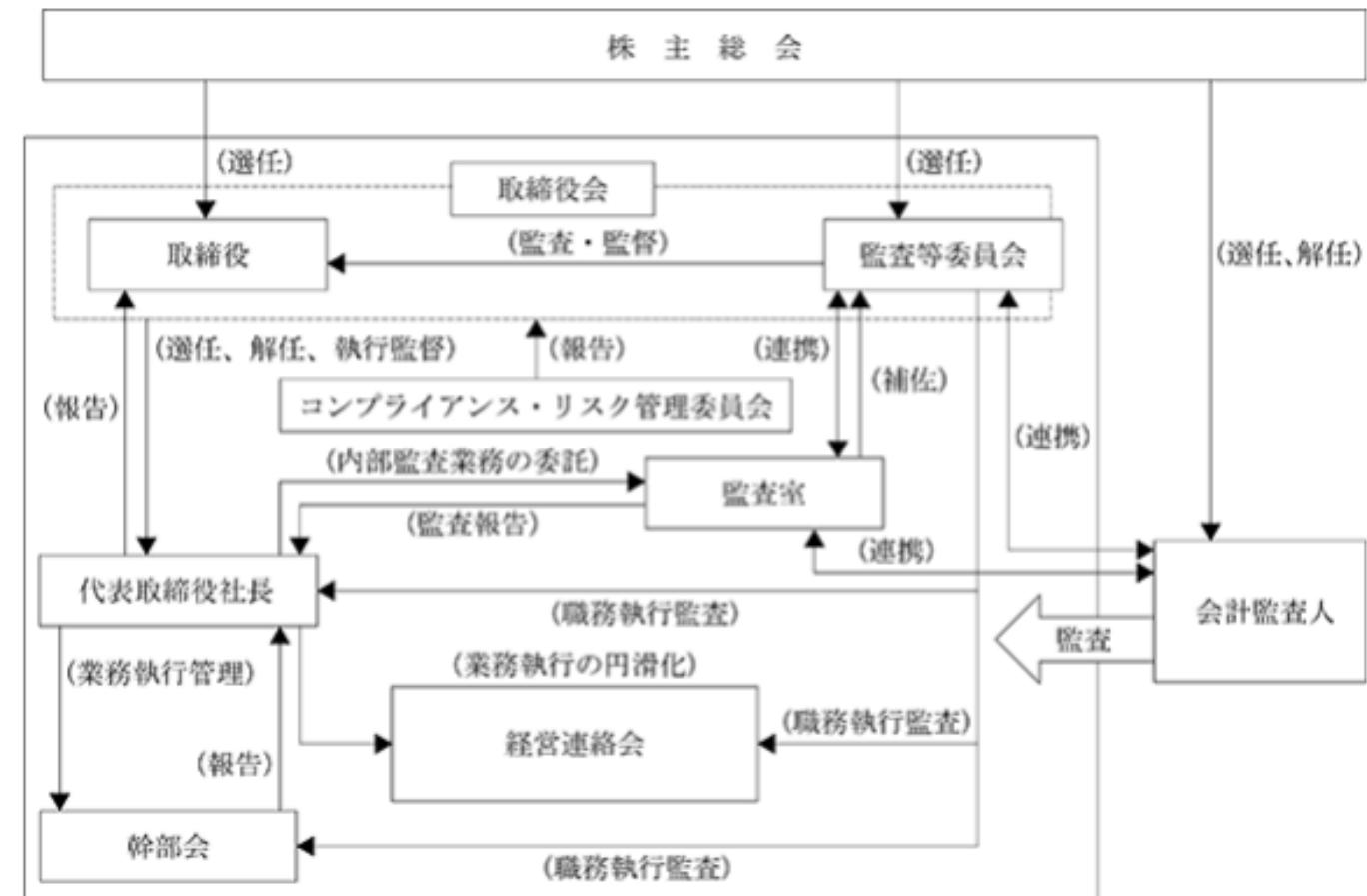
①コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、「経営理念」及び「企業行動基準」に基づき、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ることを目的に、経営の健全性、透明性、効率性、迅速性を根幹に、株主、顧客をはじめ取引先、地域社会及び従業員等の全てのステークホルダーとの良好な関係を維持・構築し、その実現のために、取締役会及び監査等委員会を軸としてコーポレートガバナンスの充実を図って参ります。

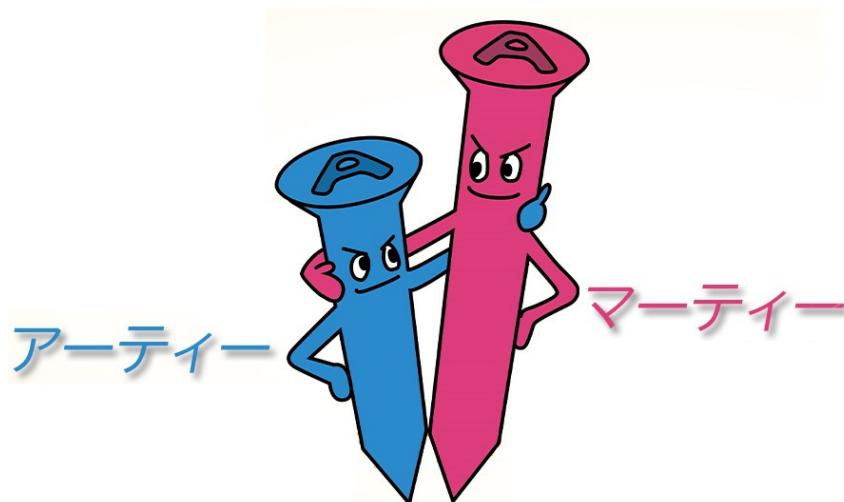
②企業統治の体制の概要及び当該体制を採用する理由

当社は、取締役の職務執行の監査等を担う監査等委員会を取締役会の構成員とすることにより、取締役会の監督機能を強化し、更なる監視体制の強化を通じてより一層のコーポレート・ガバナンスの充実を図るため、2021年6月28日開催の第80回定時株主総会における承認を得て「監査等委員会設置会社」に移行しました。会計監査人として、ネクサス監査法人と監査契約を締結し、独立した立場から会計に関する監査を受けております。これらにより、経営の意思決定及び業務執行の適正化・透明化に努めています。

◆当社のコーポレート・ガバナンス体制の概略図



イメージキャラクター アーティー・マーティーです！



名前:アーティー(青)

マーティー(赤)

出身地:兵庫県尼崎市

年齢:非公開

性格:打たれ強い

特技:木割れ防止

アーティー・マーティーは様々なノベルティグッズで活躍しています。



日刊産業新聞でも
紹介されました。



(出典: 2023年5月29日 日刊産業新聞)

(おことわり)上記の新聞記事は新聞社からの許諾を得た上で掲載しております。
無断での複写・転載を禁止します。

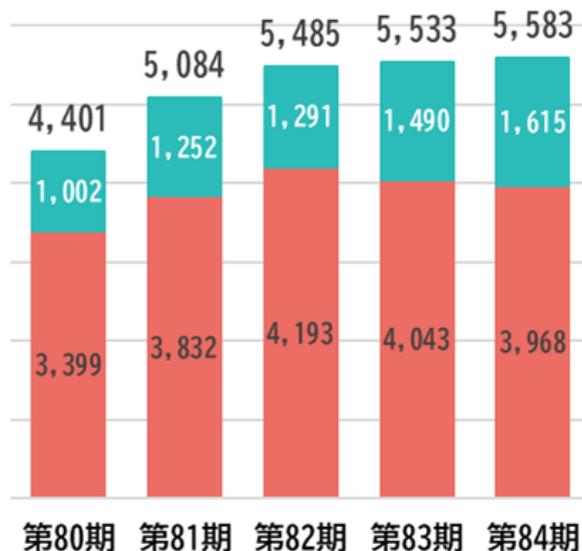
当社は、数多くのメディアで取上げられております。

近年、掲載・出演した主なものを紹介いたします。

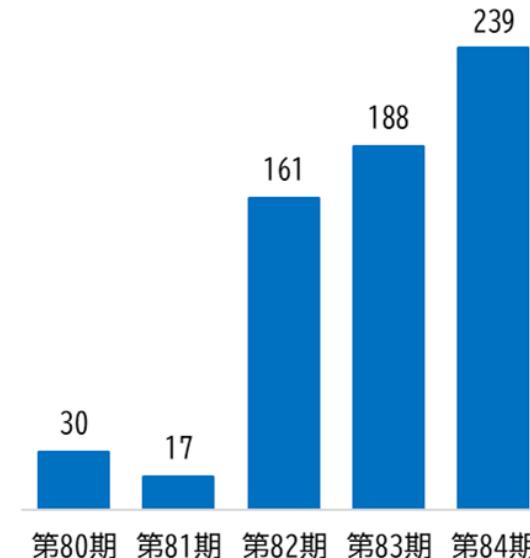
年月日	掲載(出演)媒体	掲載(出演)内容
2023/11/16	(テレビ)テレビ大阪	【番組名】「ねじの世界」(ナテック紹介)
2024/7/7	(新聞)日経ヴェリタス	アマテイ 釘国内最大手、非住宅打ち込む(発掘!!滋味スゴ銘柄)
2024/7/20	(テレビ)NHK総合	【番組名】「探検ファクトリー」 家の建築からアートまで 今まで知らなかった くぎの世界(「尼崎市のくぎ工場」として放送)
2024/8/20	(ラジオ)Kiss FM KOBE	【番組名】「Wave!!!!」 「SDGs TRY」のコーナーに当社社長が出演し、SDGs活動を紹介
2024/9/18	(新聞)鉄鋼新聞	名証IRエキスポ 各社独自のプレゼンテーション ※アマテイも出展企業の一社として掲載
2024/9/25	(新聞)日刊木材新聞	ぐりーんさろん 自社の強みや成長戦略をPR
2024/12/11	(インターネット)ひとごと	hitogoto 『ヒトづくりの秘訣』
2024/12/13	(新聞)日刊産業新聞	アマテイ3カ年新中計 EV・非住宅建築需要を捕捉
2024/12/16	(新聞)鉄鋼新聞	アマテイが新中期計画策定 27年度純利益2割増目指す
2024/12/18	(ラジオ)ラジオNIKKEI第1	【番組名】「PRONEXUS presents 朝イチマーケットスクエア アサザイ」 「アサザイ 今日の1社」のコーナーに当社社長が出演し、会社概要を説明
2025/1/17	(ラジオ)Kiss FM KOBE・ラジオ関西	「REC KOBE 1995」協賛
2025/1/23	(新聞)日刊産業新聞	アマテイが株主優待制度を導入
2025/2/26	(新聞)日刊木材新聞	2X4工法用杉対応釘で特許 業界初の杉材用性能証明取得 アマテイ
2025/3/17	(新聞)日刊木材新聞	面材へのめり込み軽減する釘 8年前に依頼受け開発 アマテイ

財務情報(グラフ)

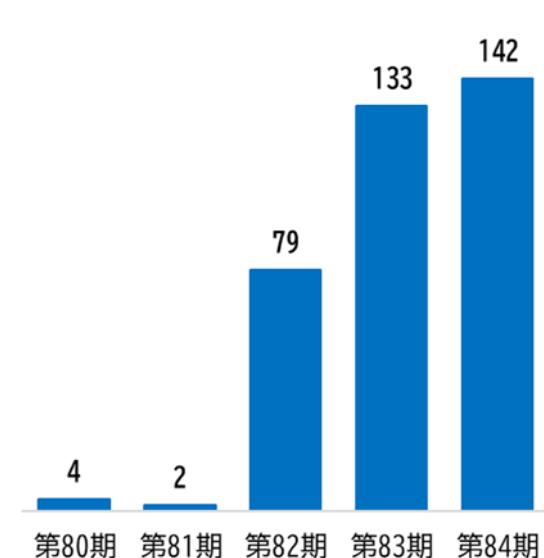
◆連結売上高(単位：百万円) ■アマティ ■ナテック



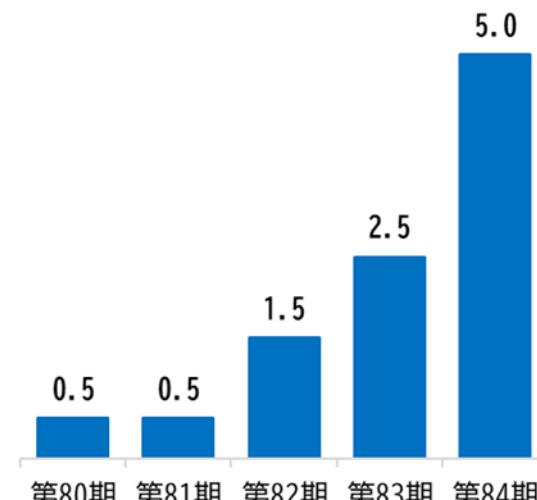
◆連結営業利益(単位：百万円)



◆連結純利益(単位：百万円)



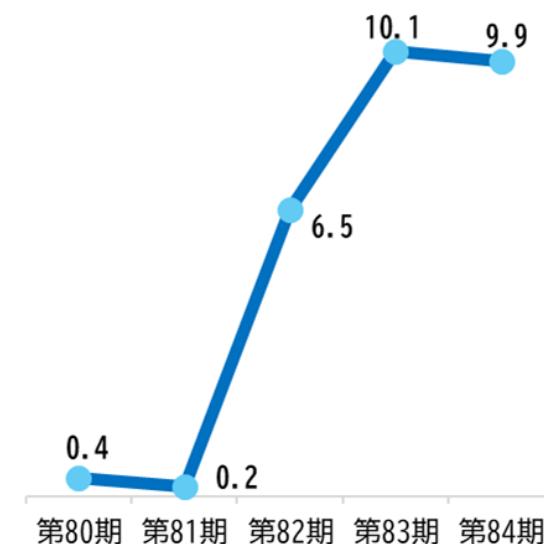
◆1株当たりの配当(単位：円)



◆自己資本比率(単位：%)



◆ROE(単位：%)



«連結財務諸表»

	第80期 (2021年3月期)	第81期 (2022年3月期)	第82期 (2023年3月期)	第83期 (2024年3月期)	第84期 (2025年3月期)
損益計算書 (百万円)					
売上高	4,401	5,084	5,485	5,533	5,583
売上原価	3,641	4,284	4,502	4,570	4,540
売上総利益	760	800	982	963	1,042
販売費及び一般管理費	729	783	821	774	803
営業利益	30	17	161	188	239
経常利益	17	6	150	178	218
親会社株主に帰属する当期純利益	4	2	79	133	142
貸借対照表 (百万円)					
負債	4,099	4,047	4,338	3,985	3,746
純資産	1,206	1,183	1,257	1,372	1,484
設備投資・減価償却費 (百万円)					
設備投資	344	119	115	116	68
減価償却費	165	165	161	153	145
主要財務指標 (%)					
ROE(自己資本利益率)	0.4	0.2	6.5	10.1	9.9
自己資本比率	21.8	22.6	22.5	25.6	28.4
1株当たり情報 (円)					
当期純利益	0.36	0.20	6.71	11.24	11.98
純資産	98.42	99.85	106.05	115.78	125.26
配当	0.5	0.5	1.5	2.5	5.0
配当性向(%)	138.9	250.0	22.4	22.2	41.7

創業 

124 周年

釘の種類 

800 種類以上

国内生産
シェア率 

No.1

株主数 

6,292 名

年間休日 

123 日

平均勤続年数 

17.1 年

平均残業時間 

11.1 時間

有給休暇平均
取得日数 

12.7 日

女性管理職比率 

16.7 %

会社概要

商号	アマテイ株式会社 (AMATEI INCORPORATED)
創業	明治34年(1901年)
設立	昭和24年(1949年)
資本金	615,216千円
事業内容	普通釘・特殊釘・ねじ・各種連結釘の製造販売、建築用資材・釘打機の販売
本社	〒660-0845 兵庫県尼崎市西高洲町9番地
代表者	佐藤 亮

投資家情報

証券コード	5952
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場
発行済株式数	12,317,000株
1単元の株式の数	100株
総株主数	6,292名(2025年3月31日現在)

関係会社

●株式会社ナテック

創業	明治19年(1886年)
設立	昭和44年(1969年)
資本金	96,000千円
事業内容	ねじ及び冷間圧造部品の設計・開発・製造・販売 (自動車部品、OA機器、アミューズメント機器、家電、精密機器用途など)
本社	〒340-0015 埼玉県草加市高砂2-2-34 シャルマン高砂1階

大株主

2025年3月31日現在

	株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1	伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	2,500	21.10
2	株式会社神戸製鋼所	2,066	17.43
3	NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	176	1.48
4	(個人)	173	1.47
5	日本製線株式会社	168	1.42
6	(個人)	145	1.22
7	PHILLIP SECURITIES CLIENTS(RETAIL)	138	1.16
8	(個人)	132	1.12
9	アマテイ従業員持株会	124	1.05
10	モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	118	1.00

※当社は自己株式464千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価の月末終値及び月間高値

